

大学院特別講義

日 時： 平成 29 年 4 月 27 日（木）午後 3 時 30 分～午後 5 時

場 所： 静岡県立大学 小講堂

世話教室：創薬探索センター

対 象： 大学院生、学部生、教職員、その他

演 題：多成分反応を用いた天然物合成と創薬展開

演 者：市川 聡 先生

北海道大学大学院 薬学研究院 創薬科学研究教育センター
有機合成医薬学部門 教授

多成分反応は、3 つ以上の基質を一挙に連結する反応であり、1 段階で複雑な骨格の構築を達成できるため、天然物合成における収束的な合成に頻用される。創薬化学的にも非常に魅力的な反応で、標的化合物の合成の終盤に多成分反応を設定した場合、各ユニットを組みかえることで様々な多様性を持つ誘導体を迅速に供給することが可能である。これまでに演者らは、多成分反応の 1 つである Ugi 反応を用いることで、創薬シードとしての天然物の包括かつ効率的な構造活性相関研究を行ってきた。本講演では、プロテアソーム阻害活性を有するシリングリン A、DNA 転写活性阻害活性を有するキナルドペプチン、抗菌活性を有するプラスバシン A3 の全合成とその構造活性相関研究について紹介する。

問合せ先：静岡県立大学大学院薬学研究院
創薬探索センター
浅井 章良

Tel: (054) 264-5231, FAX: (054) 264-5231

E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp